

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		クールダウンするスペースが必要。2階もあそび場になっている。間仕切りをつけるか？
	2	職員の配置数は適切であるか		○		もっと個別対応ができる人数を確保したい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	バリアフリーでないため、身体障害児は受け入れていない。段差が多く、男女別に着替える等のスペースの余裕が欲しい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			○	振り返りの時間が取れず会議の日程を増やす予定。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケート結果を熟読し真摯にうけとめている。業務改善にどうつなげていくかが課題である。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		法人第三者委員による評価は行っているが、外部機関での評価を行っていききたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		法人内の研修、外部研修に加え、めろでい会議内でも実施していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		業務に追われ、アイデアを実践するに至らないことが多く、十分でない。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			予定表、カードなどを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		打ち合わせの時間を有効に使いたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			音楽教室、リズム教室、遠くの公園への外出等を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		基本的な習慣の定着を目指しているが、長期休暇には他のことも視野に入れていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援計画にのせると同時にミーティング等でも確認をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日までの様子等を踏まえ、情報共有。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	打ち合わせの時間はとれないが、問題点等は情報共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		記録を閲覧する時間を新たに設ける予定。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの項目により行えていないもの(地域交流)もあり、それは今後の課題
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者および児童発達支援管理責任者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校と直接かかわることは少ないが、保護者を通じて密に連絡を取っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当児なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		ゆっくとは連携しているが、その他の機関とは今後の課題。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当児なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			2か月に1回、指導を受けている内容を充実させていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	公園で偶然会う程度で意図的なものではない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				地域に該当するものがない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談時や送迎時に気さくに話し合うようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	相談相手になる程度で、ペアトレには及ばない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		話を聞くこと、知っている範囲での助言等を行っているが、専門的な回答は出来ず、保護者にとって必要、十分とは言えない。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		2019年度は機を逸してしまい、2月末に全体会と同時に開催したのみ。年間2回程度、計画・実施していく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			窓口になる担当者を定めて対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			デイ通信や、事務所から必要に応じた文書発行、メールのやり取りを行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			資料・写真等の扱いに注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個に応じた伝達方法を考えて行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		めろでいでは行っていないが、タイム全体で行っている事業に参加している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		必要に応じて発行している。室内掲示等工夫して行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を中心に行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			説明を個別に行い、承諾書をいただき、個別支援計画書に位置づけ、記録シートに記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーのある子はいない。留意事項等を保護者から伺い、周知している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			必要に応じて作成している。